

【平成30年度 面河山岳博物館・夜の講座】

古い絵葉書とパンフレットでたどる 面河溪の観光開発



昭和12年ごろの通仙橋

明治より世に知られるようになった歴史ある景勝地、面河溪。昭和に入ると名勝、国定公園に指定され、多くの観光客でにぎわっていました。

今回の講座では観光開発の歴史を、昭和初期以降に発行された絵葉書やパンフレットなどで辿っていきます。歴史を紐解いていくことで、これからの面河地域の観光の進むべき道を探ってみませんか？

★お願い！

面河に関する古い絵葉書やパンフレット、写真などをお持ちの方は、ご持参ください!!

※当日お借りし、博物館で撮影など記録をとらせてください。また、当日会場で紹介させていただくかもしれません（その場合は事前相談します）。



昭和初期の絵葉書（亀腹前）

◎日 時：平成30年11月30日（金） 19：00～20：10

◎場 所：久万高原町面河支所2階会議室（久万高原町渋草2431）

◎定 員：40名（会場サイズからこれ以上は立ち見、もしくは入場できない場合もあります。）

◎講 師：面河山岳博物館学芸員

◎参加費：無 料

◎申 込：面河山岳博物館まで氏名・住所・連絡先をお知らせください。

電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。いただいた個人情報は適正に管理し、延期・中止など本事業に関するご連絡のみ使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名（

）

住所（

市・町

電話番号（

）